

桜川文芸

俳句

【大和俳句愛好会】

晴れ渡り植田巡りの影長し

鈴木ふみい

紫陽寺思い込めての鐘一打

古橋 益子

さくらんぼ狩りへカメラを俵はたけに托たくす

成田 あさ

支え合う笑い百葉夏句会

鈴木登美子

口下手は父に似たるや合歡の花

岩渕のぶ子

野に出よと誘いざなふ木々に青葉光

田代てい子

【桜川岩瀬俳句会】

百日草思ひ出多き亡夫の杖

菊池 すい

夏草のこの遅しさ老ひに慾し

大関しづ子

蜘蛛の囀せむぎや参道の空さえぎりて

上野 吉江

かわせみの水打ち乱しけりとびぬ

永瀬 ちい

芋の葉に露の女神の宿しけり

細谷 充子

おごそかに祝詞の流れ山開き

長井 冬扇

短歌

【やまと短歌会】

昏れなすむ空に夕星光り初む昴みぼしとなりて

輝く息は

和泉 稲子

打ち水に光れる庭を目で涼みゆつくり注

ぐ生の酒旨し

西岡 和子

ピカピカリ螢は叢とんで行くわが魂ホロ

ホロ付きゆく夕べ

深谷 快子

砂浜に彩とりどりのビー玉をまき散らせ

しごとパラソル咲きぬ

中原すみ子

ゆるやかに寂しさはくる一人なる畑仕事

の夏の真昼間

皆川 米子

ドレスなく旅なき婚に軍国の花嫁初夜さ

へ別れの儀式

塩谷 明子

【岩瀬短歌会】

老の生保つはからひかたじけな一碗の粥

謹みて食む

中原 宇内

座敷犬さくらは孫に抱かれて夜具を首迄

被りて眠る

大関にち子

安値とふその安易さに魅せられて冷凍食

を購かひひたりしを

萩原きしの

目覚しのベルに起されし微睡にシャツ

ターの音小さく聞ゆ

古賀 澄

宅配の女むすめねぎらひて印を押す雨風強き夕

べなりけり

大関 節子

年毎に亡き母の年に近づきて親の心に寄

り添ってくる

浜野和 操

行先の切符はトンネル通り抜けわれを待

ちをり改札口に

岡野 礼子

朝あけに錠かぎび初めし牡丹二つついよ紅々

咲き誇る午後

石田 守子

有料広告掲載募集中!

お問い合わせは、秘書広報課へ ☎58-5111-75-3111、内線1268

広報 さくらがわ

有料広告掲載募集中!

お問い合わせは、秘書広報課へ ☎58-5111-75-3111、内線1268

広報 さくらがわ